

2学期末 内部評価結果（令和2年度）

R3, 1, 8

- 基本目標 1** 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 2** 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努めるたくましい人づくりをめざします
- 基本目標 3** 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 4** 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします

【評価基準】 A: 十分なされている B: 概ねなされている C: あまりなされていない D: なされていない

基本目標	項目	評価内容	令和2年度2学期				令和2年度1学期				R2年度1学期との比較	
			A	B	C	D	A	B	C	D	A評価	C評価
3	(1)組織的な学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	9	5			8	6				
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	3	11			1	9	3		○	○C改善
		3★校務の効率化が図られているか。	2	11	1		1	14				▲C増加
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	2	12				14	1		○	
1・2	(2)学習指導の充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	7	5			4	9			◎	
		6★ゴールの姿をイメージして、授業できたか。	6	6			4	10			◎	
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	11	2			6	7			◎	
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	9	4			6	8			◎	
		9★家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	8	5			4	8	1		◎	○C改善
		10 外国語活動の充実を図られたか。	10	3			9	6				
		11★道徳の授業の充実を図られたか。	3	10			4	9				
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	12	1			12	2				
		13★読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	11	2			8	5	1		◎	○C改善
1・2	(3)生徒指導の充実	14 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	9	4			7	7			◎	
		15 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	7	6			6	8				
		16 挨拶、ことば遣いについて指導できたか。	12	1			12	2				
		17 清掃指導ができたか。	6	7			7	7				
		18 食育を行い給食指導ができたか。	9	4			6	8			◎	
		19 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	11	2			4	9			◎	
		20 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	12	1			6	7			◎	
21 児童理解について、共通理解が図られているか。	12	1			13	2						
4	(4)家庭地域との協働	22 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	13	1			14	1				
		23★教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようと(受信)しているか。	4	9	1		5	9	1			△Cあり
		24 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	7	7			4	9			◎	
3	(5)その他(職員の服務態度)	25 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	14				14	1				
		26★教職員は、服装、髪等児童生徒の模範となっているか。	9	5			11	4			△	
		27 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	11	3			10	5				
		28★教職員は、働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいるか。	7	6	1		6	9				▲C増加

	R2の2学期	R2の1学期	↑
A評価が4割以上の項目	23	18	Aについて
C評価があった項目	3	5	○2点以上アップ ◎2点以上アップ & 4割以上 △2点以上ダウン & 4割以上 ▲2点以上ダウン & 4割なし

結果と考察

- A評価が4割以上の項目が1学期より5項目増え、さらに2点以上アップした項目が13項目もある。
- 「9★家庭学習・家庭読書についての指導」と「13★読書活動の推進しと読書量増加」でC評価がなくなった。2学期の委員会活動の取組や個別の指導によるものと思われる。
- 1学期に課題となっていた「6★ゴールの姿のイメージ」についてもA評価が2点以上アップした。ゴールを意識して授業する教師が増えた。
- 「11★道徳授業の充実」については、A評価がさらに1点下がってしまった。今後、道徳授業の充実の必要性がある。
- A評価が2点以上下がった項目として、「26★教職員は、服装、髪等児童生徒の模範となっている」の項目が挙げられる。点数は9点あるが、2点下がったということは、教職員としての規範意識を高くもって児童生徒の模範となるよう気を引き締めなければならない。
- C評価が増加した項目として「2★校務の効率化」と「28★働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいる」という働き方改革があげられた。組織と個人の両面においてC評価が1点ずつある。組織としての工夫により個人の意識も上がるので、今後組織としての工夫が必要である。
- 「23★教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようと(受信)している」については、A評価が1点下がり、C評価が依然として1点ある。これは、コロナ感染防止のため地域の行事も少なく、参加も難しいという状態のためやむを得ない。